

平成 27・28 年度 土木学会複合構造委員会 第 11 回幹事会議事録

日 時：平成 29 年 1 月 27 日（金）14:00～17:30

場 所：土木学会 B 会議室

出席者：奥井委員長，西崎副委員長，滝本幹事長，池田幹事，~~大久保幹事~~，葛西幹事，~~斎藤(成)幹事~~，
齋藤(隆)幹事，~~下村幹事~~，~~平幹事~~，中村幹事，広瀬幹事，牧幹事，松本幹事，溝江幹事，
久米村事務局

配布資料：

- 資料 幹11-0 平成27・28年度第11回複合構造委員会幹事会議事次第
- 資料 幹11-1 平成27・28年度第10回複合構造委員会幹事会議事録（案）
- 資料 幹11-2 平成27・28年度第4回複合構造委員会議事録（案）
- 資料 幹11-3 平成28年度委員会予算執行状況
- 資料 幹11-4 論文集A1特集号：複合構造
- 資料 幹11-5-1 第6回FRPシンポジウム 計画・報告書
- 資料 幹11-5-2 第12回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム会告案
- 資料 幹11-6-1 平成29年度重点研究課題募集案内
- 資料 幹11-6-2 平成29年度重点研究課題申請書（示方書連絡会議）
- 資料 幹11-7 平成29年度全国大会研究討論会企画案
- 資料 幹11-8-1 FRP複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会・設立趣意書案
- 資料 幹11-8-2 H217 CFT活用小委員会委員募集
- 資料 幹11-9 出版関連報告
- 資料 幹11-10-1 10周年記念式典 開催報告
- 資料 幹11-10-1 10周年記念式典 計画・報告書
- 資料 幹11-11-9 H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会
- 資料 幹11-12-1 次回幹事会開催場所について
- 資料 幹11-12-2 山尾教授最終講義案内
- 資料 幹11-13 JSCE2015H29年度活動計画募集案内

議事内容：

0. 委員長挨拶

奥井委員長より，幹事会開催にあたり挨拶があった。

1. 第10回幹事会議事録案の確認（資料 幹11-1）

溝江幹事より，資料に沿って説明があり，承認された。

2. 第4回委員会議事録案の確認（資料 幹11-2）

齋藤(隆) 幹事より，資料に沿って説明があり，以下の点について修正し次回委員会で審議する。

- ・(7) 現在の残の額は ⇒ 現在の支出合計は
- ・(7) 2万円方 ⇒ 2万円の方
- ・(7) （回答）1月頃 ⇒ 前年度1月頃
- ・(9) 優秀講演者3名の選定について承認 ⇒ 優秀講演者3名の選定について報告
- ・(16) （回答）十分に安全率 ⇒ 十分な安全率
- ・(17) （回答）参加費に～考える。⇒ 対応は幹事会で検討する。

- ・(18) 西崎次期委員長 ⇒ 西崎次期委員長候補

3. 平成28年度予算執行状況（資料 幹11-3）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があり、下記について確認した。

- ・予算の有効利用として、過去の小委員会報告書を現在の各小委員会が買い上げて、委員に配布してもよい。なお、過去の小委員会報告書は個人購入することが基本。
- ・書籍作成小委員会は、旅費の計上を早急に検討し、3/15までに請求する。
- ・1/10論文集校正費は、何号分の費用か資料に記入する。
- ・3月初めに論文が投稿されれば、その論文校正費を今年度に計上することは可能である。
- ・10周年記念式典の印刷物は複合構造委員会で作成し、10周年記念式典小委員会として印刷費を計上する。

4. 土木学会論文集A1特集号：複合構造（資料 幹11-4）

牧幹事より、資料に沿って説明があった。また、H28年度の予算について以下のとおり確認した。

- ・校正は投稿者から届いたものから年度内にできる範囲で実施する。3月初旬に校正頁を把握し、概算校正費を事務局に伝える。

5. 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム関連

(1) 第6回FRP複合構造・橋梁に関するシンポジウムの開催報告（資料 幹11-5-1）

松本幹事より、資料に沿って説明があり、以下のとおり確認した。

- ・初めての地方開催であったが、内容を評価して次回に反映したほうがよい。シンポジウム後の論文小委員会の審査は時間的に厳しいなど。
- ・今回の見学会先である東レ(株)、(株)ヒビには奥井委員長名で礼状を出す。
- ・参加者数は約150人であったため、土木学会にはその旨報告する必要がある。
- ・残ったCDは、親委員会等に適宜配布する。

(2) 第12回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム準備状況（資料 11-5-2）

松本幹事より、資料に沿って標記シンポジウムの講演原稿募集の会告案が示され、以下の意見があった。

- ・2日目に開催予定のシンポジウム小委員会の会場は、昨年同様、熊本大オフィスを利用するための申請は可能である。

6. 平成29年度重点研究課題

(1) 複合構造委員会の申請書（資料 幹11-6-1）

松本幹事より、資料に沿って説明があり、以下のとおり確認した。

- ・代表研究者は、産学を中心に各調査委員会の立場から以下の6名とする。
下村先生（コンクリート委員会）、奥井先生（鋼構造委員会）、松本先生（複合構造委員会）、上田先生（国際センター）、渡辺忠朋氏（複合構造委員会、コンサルタント）、杉浦先生（構造工学委員会）
- ・本研究課題の目標は教材作成、学会の示方書及び実務の習得であることを考慮し、申請書を作成する。

(2) 示方書関連委員会の合同申請書（資料 幹11-6-2）

池田幹事より、資料に沿って説明があり、以下のとおり確認した。

- ・本申請内容に対し複合構造委員会として協力する。

- ・複合構造委員会として協力することについて、示方書関連連絡会議に複合構造委員会から参画している中島先生、渡辺忠朋氏に打診する。

7. 平成29年度全国大会研究討論会（資料 幹11-7）

滝本幹事長、溝江幹事より、資料に沿って説明があり、以下のとおり確認した。

- ・討論会は、案1の複合構造物の水対策とし、H214防水・排水小委員会で企画する。
なお、幹事会で企画に関するアイデアがあれば出す。
- ・防水の対象は、床版やトリプルコンタクトを有する部材と考えている。
- ・参加人数が少なくなることが懸念されるため、限られた範囲の防水・排水ととられないようにパネラー等の分野を決める必要がある。
- ・討論会の座長は親委員会委員長、もしくはH214が主体となり小委員会委員長がやってよい。
内容次第で座長の選定は判断する。
- ・3/10までに学会に申請するため、メールで審議する。

8. 新設小委員会（FRP）の設置、H217委員募集

(1) FRP複合構造の設計・維持管理に関する調査研究小委員会・設立趣意書案（資料 幹11-8-1）

西崎副委員長より、資料に沿って説明があり、以下のとおり確認した。

- ・幹事会としては、本委員会の設置は了承する。
- ・幹事長候補の橋本先生には、連絡幹事として親委員会幹事会に入っていただく。
- ・本委員会の検討項目は、複合構造標準示方書小委員会の各WGとすみ分けはできている。
- ・示方書改定の時期を考慮して早めに始動するため、親委員会にメール審議し、2月に会告原稿提出、学会誌4月号で公募する。

(2) 新設小委員会（CFT部材の活用）の設置（資料 幹11-8-2）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。現在公募中で幹事長候補には三浦氏が決定した。

9. 出版関係（資料 幹11-9）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があった。

- ・絶版図書の電子化について、複合構造委員会の要望は、学会員の要求を考慮し検討中である。
- ・絶版図書のPDFを委員会HPで公表する場合、著作権法上、公表の手続きが必要である。

10. 10周年記念式典報告（資料 幹11-10-1, 11-10-2）

溝江幹事より、資料に沿って説明があった。以下のとおり確認した。

- ・式典報告は学会誌3月号に掲載予定である。
- ・印刷費（15万円）は式典小委員会の予算（20万円）から支弁する。
- ・記念誌は60部残っており、①冊子配布、②PDFによる公開が考えられる。①については次回親委員会受付時に配布、②については次回親委員会で公開の了承を得てから公開する。
- ・パネルディスカッションのパネラーのパワーポイント資料は、次回親委員会に公開の了承を得てから公開する。
- ・行事に関する報告書について、18 その他支出の記載内容を、7 会場使用料に記載する。

11. 小委員会報告審議事項

(1) H103 複合構造の基礎に関する書籍作成小委員会

葛西幹事より、原稿を作成中と説明があった。

(2) H106 FRPによる構造物の補修・補強指針作成小委員会

中村幹事より、説明があった。小委員会、幹事会で共通編WG、鋼構造WG、コンクリートWG、材料・試験法WGの活動内容を報告した。また、FRPに限定しない補修補強による標準編と、FRP補修補強による仕様編との2編構成にする方針で決定した。各WGで執筆を進めて指針を作成する。

(3) H150 各種ずれ止めの性能照査のための評価方法研究小委員会

溝江幹事より、説明があった。次回委員会を2月7日に開催予定である。

(4) H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会

牧幹事より、説明があった。5月に終了予定である。8月に報告書を取りまとめ、12月に講習会を実施予定である。

(5) H213 構造物の更新・改築技術に関する研究小委員会

滝本幹事長より、説明があった。2月6日に最終委員会を開催予定である。3月末に原稿提出後、7月21日午後に講習会を土木学会講堂で開催する。

(6) H214 維持管理を考慮した複合構造の防水・排水に関する調査研究小委員会

溝江幹事より、説明があった。活動を延期予定である。延長にあたり小委員長が幹事会で説明することを確認した。

(7) H215 複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する研究小委員会

池田幹事より、説明があった。12月に委員会を開催し、現在3WGに分かれて活動中である。

(8) H216 複合構造物の構造検査と性能評価に関する研究小委員会（資料 幹11-11-9）

松本幹事より、説明があった。11月30日に第1回、2月24日に第2回委員会を開催し、話題提供により委員間の共通認識を固めているところである。

12. 次回幹事会（資料 幹10-15）

滝本幹事長より、資料に沿って説明があり、次回幹事会は、3月10日午後に天草5橋視察、3月11日午前に幹事会会議（場所：熊本大；要確認）に決定した。

13. その他

- ・滝本幹事長より、「JSCE2015に基づく活動計画に対する助成」の募集の案内があった。
- ・企画WG、年次講演会WGのメンバーを変更する場合、早めに準備することが必要である。特に4月に年次講演会のプログラム編成会議があることを考慮していただきたい。

以 上

（記録・文責：広瀬）